

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式						
E1140001		特別支援教育概論 (Essence of Special Education)							対面						
必修選択		単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語		担当形態					
必修		2	1・3(副免)	教育学部		木4	日本語			単独					
担当教員	氏名 古長治基														
	E-mail h-kocho@oita-u.ac.jp 内線 6147														
授業の概要	特別支援教育に係る理念、制度、特別支援教育に関する歴史の概略、各障害に対応した教育上の課題や教育目標、指導上の配慮に関する基礎的な知識を身につけることを目的としている。本講義では、視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病弱、発達障害といった障害種を中心として扱う。														
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7
目標1 特別支援教育の理念、思想および歴史の概要について説明できる。							○								
目標2 各障害児の指導上の留意点を障害の特徴と関連付けて説明できる。							○							○	
目標3															
目標4															
目標5															
目標6															
目標7															
目標8															
目標9															
目標10															
各DPへの関連度(計10)							8							2	
授業の内容															
1 特別支援教育の理念と歴史															
2 特別支援教育の制度															
3 特別支援教育に関わる問題の変遷															
4 視覚障害児の特徴と教育															
5 聴覚障害児の特徴と教育															
6 知的障害児の特徴と教育															
7 肢体不自由児の特徴と教育															
8 病弱虚弱児の特徴と教育															
9 自閉スペクトラム症児の特徴と教育															
10 注意欠如多動症児の特徴と教育															
11 限局性学習症児の特徴と教育															
12 特別支援教育における自立活動															
13 特別支援教育における連携・協働															
14 特別支援教育における社会的課題															
15 まとめ															
ラーニングログ	A:知識の定着・確認		○	各回で、扱った内容についてディスカッションの機会を設ける。			工夫その他の								
	B:意見の表現・交換		○												
	C:応用志向														
	D:知識の活用・創造														
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修		配付資料や参考文献等の情報を必要に応じて予習する(22.5h)												
	事後学修		各回の内容を自分なりに振り返る(22.5h)												
	想定時間合計														
教科書		テキストは指定しない。適宜資料を配布する。													
参考書		特別支援学校学習指導要領等 独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所(2020) 特別支援教育の基礎・基本 ジアース教育新社 ISBN978-4-86371-548-6													

成績評価の方法及び評価割合	評価方法		割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	討論への貢献・発表		20%	○	○								
	課題レポート		20%	○	○								
	期末試験		60%	○	○								
注意事項	なし。												
備考	疑問や自分の意見について積極的に発言すること。												
リンク													
	URL												